

タイトル：岐阜県飼料用稲(稲 WCS)の生産・利用研修会が開催されました

日 時：平成23年10月12日

場 所：中津川市福岡地域

主 催 者：全国飼料増産協議会、岐阜県畜産技術連盟、(社)岐阜県畜産協会

共 催：東海農政局、岐阜県

後 援：中津川市、東美濃農業協同組合

状 況：

- ・三重県、愛知県、岐阜県の東海3県、及び地元中津川市から、水稻生産者や畜産農家、行政、JA関係者ら120人が参加しました。
- ・飼料用米より早く取り組まれている稲 WCS の生産は、専用収穫機械の導入が必要なことから生産面積の伸びが少ないのが課題でした。
- ・中津川市福岡の八高機械化営農組合の取組事例や現地での稲 WCS の収穫実演の他、講演会を含む研修会が開催されました。
- ・収穫実演の行われた八高機械化営農組合では、「クサノホシ」【晩生、病気に強い】を今年から約1ha栽培し、収穫作業は蛭川地区の「(農)あびろみ」に依頼していたもの。
- ・午後からは、九州沖縄農業研究センターの服部育男主任研究員による講演会も開催され、今後の取組等熱心に聴講していました。
- ・恵那農林事務所管内(中津川市、恵那市)では、今年は飼料用稲が37ha栽培されており、そのうち10haがWCS用に栽培されました。



稲 WCS 収穫実演の様子